恐縮ですが、最後までお読み下さい‼　ビジネスチャンスがきっとあります‼

医薬品関連ビジネスのストラテジー　のご案内

VOL. 1：医薬原料・中間体の市場動向と製剤受託ビジネスの展望

●本レポートのこれまでにない特徴

1．製薬メーカー、原料メーカー、医薬品関連企業に必携のレポート。これまでなかった **医薬品原料・中間体の市場動向、メーカー動向を、120 品目強**について**フローシート付**で俯瞰する。
2．**製剤受託企業 71 社**の動向を調査・分析して、受託製造の現状と将来を提示する。
3．続刊となる第２巻以降では、**CRO** や**製薬企業の組織・R&D 動向**などを分析して、総合的に製薬メーカーの**戦略推進をサポート**する。

●本レポートのコンテンツと内容・サマリー

Executive Summary

Ⅰ．医薬品原料・中間体市場と戦略的分析

1．主要原料・中間体の市場規模

・2000 年で 600 億円規模。レポート掲載品目計で 300 億円。

2．原料の形態別有機合成・中間体フローシート

・原料ソース、誘導体のフローを詳細にオリジナルでマップ化。

3．主要原料・中間体の市場動向 ＜内容見本参照＞

・対象原料例は以下の通り。（）内は、国内の医薬品向け市場規模（百万円）。

アセトアニリド (104), p-アセチルアミノベンゼンスルホニルクロライド (544), アセト酢酸エチル (86), アセト酢酸メチル (117), アセトフェノン (323), アニスアルデヒド (342), p-アミノ安息香酸 (266), 2-アミノ-4-クロロフェノール (414), 7-アミノセファロスポラン酸, 2-アミノピリジン (46), p-アミノフェノール (260), 6-アミノペニシラン (494), インドリン (629), エチルアミン類, 2-エチルヘキシルアミン (59), エトキシメチレンマロン酸ジエチル (152), γ-オリザノール (46), オルソギ酸メチルエステル (21), オルソ酢酸エステル類 (720), 2,3-キシリジン (774), 3,4-キシリジン (506), 2,6-キシリジン (10), キシリトール (903), グリオキシル酸 (180), クロロアセチルクロライド (209), p-クロロベンジルニトリル (44), クロロスルホニルイソシアネート (368), クロロ炭酸ベンジル (320), O-クロロ安息香酸 (162), 五塩化リン (99), コンドロイチン硫酸ナトリウム (106), サリチルアルデヒド (19), サリチル酸 (612), 2,6-ジクロロアニリン, 2,4-ジクロロ安息香酸 (57), シクロヘキセンオキサイド (3), 2, 6-ジクロロベンズアルデヒド (432), ジクロロアセチルクロライド (8), ジエチルアミノエチルクロライド (12), ジエチルアミン (14), シアノ酢酸エチル (189), システアミン塩酸塩 (322), ジメチルカーボネート (247), ジメチルヒドラジン (315), セミカルバジド塩酸塩 (88), ソジウムアルコラート (252), タウリン (1,450), チオアニソール (36), チオ酢酸 (36), チオフェノール (272), テオフィリン (171), 1,10-デカンジオール (133), トリグリコールジクロライド (11), トリチルクロライド (31), 3,4,5-トリメトキシトルエン (136), ニコチン酸 (342), m-ニトロアセトフェノン (22), p-ニトロフェノール (585), p-ニトロベンゾイルクロライド (108), D-(-)-p-ヒドロキシフェニルグリシン, p-ヒドロキシフェニル酢酸, p-ヒドロキシベンズアルデヒド (84), p-ヒドロキシフェニルプロピオン酸 (1,160), ヒドロキシプロピルセルロース (1,551), ピペリジン (53), ピリジン (1,360), ピルビン酸メチル・エチル (77), ピルビン酸・ナトリウム (46), GCLE (2,280), フェニル酢酸 (35), フェニルサリシレート (302), フェニルヒドラジン (260), 1-フェニル-3-メチル-5-ピラゾロン (208), プロピオニルクロライド (24), プロピオフェノン (104), N-プロピルアミン (8), 1-ブロモ-3-クロロプロパン (22), o-, p-ブロモトルエン (43), ホルムアマイド (198), マロン酸ジエチル (480), マンニット (1,680), N-メチル-2-ピロリドン (260), 3-メトキシアクリル酸メチル (112), モノクロロアセトアルデヒド (120), モノメチルヒドラジンルチジン類 (158), レブリン酸 (160), L-ロイシン (1,254), 他輸入原体,など

・製法、市場動向（1998-2000）、価格、用途構成、医薬品応用分野、メーカー出荷動向、能力、その他、を詳述。

4．原料・中間体のアウトソーシング動向

・医薬品原体のアウトシーシング比率は、約 50%。
・増大化するファインケミカルメーカーの役割。

Ⅱ．医薬品製造受託業界の戦略的分析

1．医薬品業界とアウトソーシング

・2000 年で製剤受託市場 320 億円。2003 年には、外部受託比率が 25%にまで拡大。

2．製剤受託業界の構造と企業分析

・キャッシュポジションが低く、研究開発費のウェイトが少ない。化粧品受託製造業者と比較して収益力に大きな差があり。

3．製剤受託業者 71 社の動向 ＜内容見本参照＞

・対象企業例は以下の通り。（）内は、医薬品受託製造額推定（百万円）。

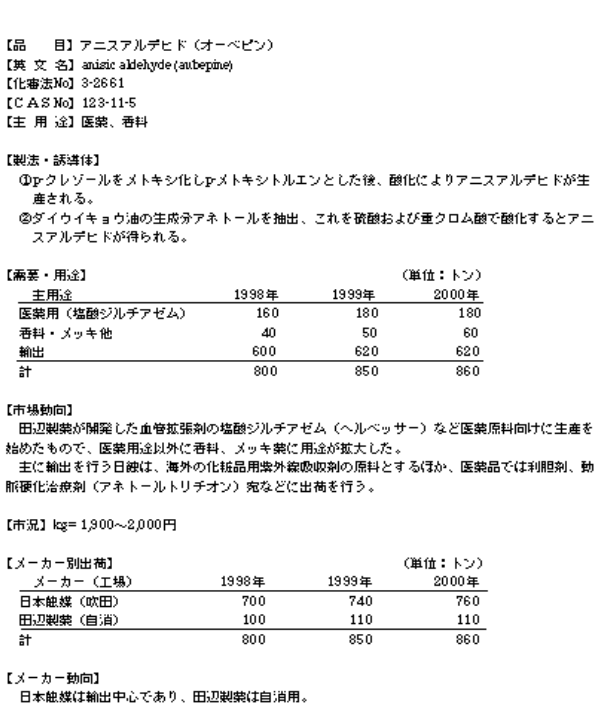
アール・ピー・シーラー (2,950), 帝國製薬 (2,700), 東海カプセル (2,400), 佐藤薬品工業 (2,200), 小林製薬工業 (1,920), 東亜薬品 (1,800), テイカ製薬 (1,300), 大洋薬品工業 (1,200), 目黒化工 (1,000), 池田模範堂 (1,000), 模範薬品研究所 (800), 東洋カプセル (800), 東洋ファルマー (700), 福寿製薬 (700), 大原薬品工業 (650), 秋山錠剤 (600), 東和薬品 (600), 帝国化学産業 (550), 明治薬品 (500), 三生医薬 (500), 生晃栄養薬品 (500), ダイト (500), 日新製薬 (500), 同仁医薬化工 (300), アズウェル (300), 救急薬品工業 (200), マルコ製薬 (200), 廣貫堂 (200), 科薬 (150), 中外医薬生産 (150), 日本ヘキサル (100), 東洋製薬化成 (100), 他

・企業概要、工場、受託品目、業績推移、製剤受託高、受託先、仕入先、能力、特徴、系列、その他を詳述。

●発刊内容

＜発刊日＞　2001 年 7 月 1 日。約 200 ページ
＜体　裁＞　**PDF ファイル版（CD-ROM）** の供給となります。（ハードコピーは別途 10,000 円）
＜価　格＞　**予約特価**（7 月 15 日以前のご発注）：**100,000 円**（税別）、定価：**120,000 円**（税別）
＜申　込＞　付属の注文書に必要事項をご記入のうえ E-mail または FAX でご送付下さい。お電話でも結構です。

●内容見本



【品　　目】アニスアルデヒド（オーベピン）
【英 文 名】anisic aldehyde (aubepine)
【化審法No】3-2661
【ＣＡＳNo】123-11-5
【主 用 途】医薬、香料

【製法・話構体】
①p-クレゾールをメトキシ化しp-メトキシトルエンとした後、酸化によりアニスアルデヒドが生産される。
②ダイウイキョウ油の生成分アネトールを抽出、これを硫酸および重クロム酸で酸化するとアニスアルデヒドが得られる。

【需要・用途】　（単位：トン）

主用途	1998年	1999年	2000年
医薬用（塩酸ジルチアゼム）	160	180	180
香料・メッキ他	40	50	60
輸出	600	620	620
計	800	850	860

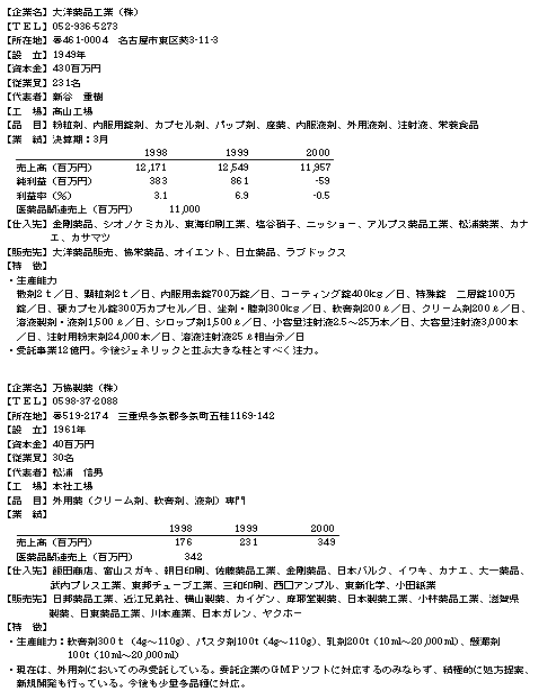
【市場動向】
田辺製薬が開発した血管拡張剤の塩酸ジルチアゼム（ヘルベッサー）など医薬原料向けに生産を始めたもので、医薬用途以外に香料、メッキ薬に用途が拡大した。
主に輸出を行う日綿は、海外の化粧品用紫外線吸収剤の原料とするほか、医薬品では利胆剤、動脈硬化治療剤（アネトールトリチオン）宛などに出荷を行う。

【市況】kg= 1,900～2,000円

【メーカー別出荷】　（単位：トン）

メーカー（工場）	1998年	1999年	2000年
日本触媒（吹田）	700	740	760
田辺製薬（自消）	100	110	110
計	800	850	860

【メーカー動向】
日本触媒は輸出中心であり、田辺製薬は自消用。



【企業名】大洋薬品工業（株）
【ＴＥＬ】052-936-5273
【所在地】〒461-0004　名古屋市東区葵3-11-3
【設　立】1949年
【資本金】430百万円
【従業員】231名
【代表者】新谷　重樹
【工　場】高山工場
【品　目】粉粗剤、内服用錠剤、カプセル剤、パップ剤、座薬、内服液剤、外用液剤、注射液、栄養食品
【業　績】決算期：3月

	1998	1999	2000
売上高（百万円）	12,171	12,549	11,957
純利益（百万円）	383	861	-59
利益率（%）	3.1	6.9	-0.5

医薬品関連売上（百万円）　11,000
【仕入先】金剛薬品、シオノケミカル、東海印刷工業、塩谷硝子、ニッショー、アルプス薬品工業、松浦薬業、カナエ、カサマツ
【販売先】大洋薬品販売、協栄薬品、オイエント、日立薬品、ラブドックス
【特　徴】
・生産能力
散剤2ｔ／日、顆粒剤2ｔ／日、内服用錠剤700万錠／日、コーティング錠400kg／日、特殊錠　二層錠100万錠／日、硬カプセル錠300万カプセル／日、坐剤・膣剤300kg／日、軟膏剤200ｋ／日、クリーム剤200ｋ／日、溶液製剤・液剤1,500ｋ／日、シロップ剤1,500ｋ／日、小容量注射液2.5～25万本／日、大容量注射液3,000本／日、注射用粉末剤24,000本／日、溶液注射液25ｋ相当分／日
・受託事業12億円。今後ジェネリックと正ふ大きな柱とすべく注力。

【企業名】万協製薬（株）
【ＴＥＬ】0598-37-2088
【所在地】〒513-2174　三重県多気郡多気町五桂1163-142
【設　立】1961年
【資本金】40百万円
【従業員】30名
【代表者】松浦　信男
【工　場】本社工場
【品　目】外用薬（クリーム剤、軟膏剤、液剤）専門
【業　績】

	1998	1999	2000
売上高（百万円）	176	231	349

医薬品関連売上（百万円）　342
【仕入先】細田商店、富山スガキ、朝日印刷、佐藤薬品工業、金剛薬品、日本パルク、イワキ、カナエ、大一薬品、武内プレス工業、東邦チューブ工業、三和印刷、西口アンプル、東新化学、小田紙業
【販売先】日邦薬品工業、近江兄弟社、横山製薬、カイゲン、産那堂製薬、日本製薬工業、小林薬品工業、滋賀県製薬、日東薬品工業、川本産業、日本ガレン、ヤクホー
【特　徴】
・生産能力：軟膏剤300ｔ（4g～110g）、パスタ剤100t（4g～110g）、乳剤200t（10ml～20,000ml）、酸難剤100t（10ml～20,000ml）
・現在は、外用剤においての み受託している。受託企業のGMPソフトに対応するのみならず、積極的に処方提案、新規開発も行っている。今後も少量多品種に対応。

【問合先】（株）インフィニット・テクノロジーズ　　大垣　城治
〒 158-0083　東京都世田谷区奥沢 6-5-10-502　　**☎ 03-3702-0526　菱 03-3702-0515**
E-mail: george@infinite-tec.com　　会社概要は、**http://infinite-tec.com** へ！
（株）テクノ情報センター　　奥野　秀秋
〒 101-0025　東京都千代田区神田佐久間町 3-9　第３田中ビル　**☎ 03-3861-2265　菱 03-3864-6684**

---------- **注　文　書　(03-3702-0515 へ!)** ----------

発注日：　　年　　月　　日

『 **医薬品関連ビジネスのストラテジー　VOL. 1** 』を以下の通り申し込みます。

貴社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　部数　PDF 版：　　部、ハードコピー版：　　部

所在地　〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

部署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご担当＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　☎＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　菱＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

E-mail＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

通信事項＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿